



学校だより No.15

令和4年3月2日(水)発行



沼田市立沼田西中学校

課題解決のために具体的な取組を推進します(第2回学校評価アンケートより)

第2回学校評価アンケートの実施にあたり、保護者の皆様にはお忙しい中ご協力いただきまして誠に有り難うございました。さて、本年度は「主体性と支え愛の創造～3つの気(やる気・勇気・根気)を育てる教育活動の推進～」の重点テーマのもと、コロナ禍の中で工夫した教育活動を実施してまいりました。これまでの取組の成果や課題を学校評価アンケートの結果を通して明確にし、教職員一丸となって学校改善に取り組んでいく所存ですので、引き続き保護者の皆様や地域の方々のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※自己評価は、第1回と第2回の総合評価となります。学校関係者評価については、評議員(学校関係者評価委員)の皆様の評価です。また、1回目と比較して評価が上がった項目及び下がった項目は太字で示させていただきます。

A:「はい」「どちらかといえばはい」が80%以上(◎は90%以上・ⓐは85%以上)、Bは60%以上、Cは60%未満

具体的数値項目と改善策	自己評価 総合	関係者評価
①「学校が重点的に取り組んでいることや子供の学校での様子が分かる」と保護者の80%以上が答えている。 (改善策) ○学校、学年だよりやホームページの充実を図るとともに、家庭への連絡(Home&School)により学校の様子が伝わるように引き続き心がけていく。 (学校関係者評価委員の意見) ・コロナ禍にあって、学校の様子を積極的に知らせることは、学校の信頼感を高める上でとても効果的である。特に Home&School の連絡に写真が多く載せられていてよかった。	A	A
②学校行事やPTA諸活動に保護者の80%以上が年2回以上参加している。 (改善策)【第1回自己評価A→第2回自己評価B】 ○Home&School 等で参加者の意見を集約し、次回の改善につなげ魅力ある活動にしていく。 ○通知や学年便りなどのお便りで周知する。また、Home&School で、再度的確に連絡する。 ○来校した保護者にも消毒や手洗いを励行したり、教室の換気を行ったりして感染症対策を徹底し、安心して学校行事に参加できるように配慮する。 (学校関係者評価委員の意見) ・新型コロナウイルスの影響で保護者の参加が少なかったのはやむを得ないが、行事を見直すいい機会になる。 ・感染症対策をし、安心して参加できるよう配慮されていた。	B	B
③「授業が分かる」と生徒の80%以上が答えている。 (改善策) ○「西中スタイル」やICTの活用など、他教科であっても参観する観点が焦点化されたので、お互いに参観し合えるような環境を作る。 ○知識・技能を確実に習得できるように放課後学習などの短い時間をドリル学習に充てたり、学習プリントコーナーにドリル的な内容のワークシートを補充したりすることで繰り返し知識・技能の問題演習に努める。 ○生徒の実態に応じた課題解決学習を設定し、学習したことを活用できるようにすることで思考力・判断力・表現力の育成に努める。 (学校関係者評価委員の意見) ・生徒の理解度を高めるために、授業改善に取り組むことは素晴らしいことである。「見通し」については、小学校でも重視しており、小中連携の視点にもなり得る重要なポイントだと感じた。 ・タブレットを活用しての授業の様子を見て生徒全員が参加していて良いと思った。 ・学習効果の向上、学校生活の充実につながるように、タブレットの使い方のルールについて考える場を生徒主体で設けられたことは効果的であった。	A	A
④生徒の80%以上が授業に満足感をもっている。 (改善策) ○「西中スタイル」を基本としたグループ活動で、個々の生徒が自分の意見や考えを発表する機会をもつことで、自己有用感や自己肯定感がもてるようにする。 ○達成感を味わえるように、習熟度に応じた学習活動やワークシートを準備する。 (学校関係者評価委員の意見) ・「授業が楽しい、授業に満足している」という生徒の姿は、学校が目指すべき基本だと思う。スモールステップや教え合いが効果的に作用していると感じる。 ・教師が創意工夫し授業と人間関係に努力していることが感じられる。	A	A
⑤生徒の80%以上が毎月家庭学習を行っている。 (改善策) ○「家庭学習の手引き」を有効利用できるように授業や各クラスで指導する。また、言われた課題や宿題に取り組むだけでなく、自らの学習達成度や興味・関心を考えて必要な学習を選択できるヒントとして利用できるように支援する。 ○放課後学習で集中して学習に取り組む習慣を身に付けさせることで、家庭学習にも活かせるようにする。 (学校関係者評価委員の意見) ・この評価項目でA評価は、大変素晴らしいと思う。帰りの会で家庭学習の内容を選択させる取組は大変参考になる。生徒自身が選ぶことで主体的になるのだと感じた。 ・職員室前の学習プリントの活用を通して家庭学習の促進が図れたと思う。	A	A
⑥生徒の80%以上が朝読書に進んで取り組んでいる。 (改善策) ○引き続き、落ち着いて読書に取り組む習慣が付くように声かけをしていく。 (学校関係者評価委員の意見) ・読書の92%A評価は素晴らしい。	A	A
⑦「相手の立場や気持ちを考えた思いやりのある言動を心がけている」と生徒の80%以上が答えている。 ⑧「学校は悩みやいじめの解消に努めている」と生徒の80%以上が答えている。 ⑨「いじめはしない、させない、許さない」と生徒の90%以上が答えている。 (改善策) ○生活記録や生活調査、Q-Uテストなどを活用し、生徒の様子や実態把握を充実させていく。また、気になる点がある場合には、迅速に学年を軸に対応し、全職員に情報共有していく。 ○継続して生徒自身が「いじめを許さない」という態度や考えをもてるよう、生徒会によるいじめ防止活動を推進していく。 ○各クラスのいじめ防止スローガンについて年度末の反省を行い、1年間を振り返り、生徒への意識付けを行っていく。	A	A

<p>〈学校関係者評価委員の意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に生徒指導と組織的に迅速な対応が浸透している印象を受ける。一枚岩の対応が素晴らしい。 ・スクールカウンセラー便りを毎回楽しみにしている。特に、子どもに伝えたいことは共有するようにしている。 ・一人一人が思いやりをもった行動を心がけることで、よりよい人間関係を築くことにつながっている。 ・生徒の小さな変化を見逃さないことをお願いしたい。 ・生徒達もいじめは絶対ゆるさないとすることを常に思って生活するように指導をお願いしたい。 ・沼田市いじめ防止会議で取り組んだ活動報告がされ、有意義な話し合いがあったと聞く。よりよい人間関係づくりに向けて日々のいじめ防止活動に活かしてほしい。 			
<p>⑩生徒の80%以上が、挨拶・返事等適切な言動ができる。</p> <p>〈改善策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○気持ちの良いあいさつについて、生徒自ら挨拶をする習慣も身に付けさせられるよう日常的に生徒に指導していく。 ○継続して朝の会や帰りの会、下校時などに服装や髪型についてチェックをし職員が同一歩調で指導する。 <p>〈学校関係者評価委員の意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気持ちの良い挨拶ができていると思う。校内で生徒の挨拶が自然にあった。 		A	A
<p>⑪部活動を通して、心身の望ましい成長や人間関係づくりに効果がもたらされていると生徒や保護者の80%が答えている。</p> <p>〈改善策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○引き続き部活動を通して一人一人の生徒が自己有用感や達成感が得られるように、方策の継続指導を行う。 <p>〈学校関係者評価委員の意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の評価が高いことに学校への信頼感が表れていると感じた。 ・コロナ禍の中、感染対策に取り組みながら日々練習に励み、大会でやる気・勇気・根気を基盤に力を発揮する姿があった。 		A	A
<p>⑫生徒の80%以上が家で手伝いをしている。</p> <p>〈改善策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○引き続き長期休暇の事前指導やお便りで、家庭における役割分担の大切さについて指導する。 ○道徳の授業を通して、福祉や奉仕、家族愛について理解や実践意欲を高め、自主的に考えたり実践したりする意欲をもてるように支援する。また、家庭へ学年便りやワークシートなどを通じて連絡し生徒が実践できるよう啓発を行っていく。 <p>〈学校関係者評価委員の意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家での手伝いに関しては、個人的にも難しい問題だと思う。家での手伝いは、保護者への啓発も必要だと思う。 ・家の手伝いをよくしてくれる。道徳の授業なども良い刺激になっていると思う。 		B	A
<p>⑬生徒の80%以上が、ボランティア活動や福祉活動に積極的に取り組んでいる。</p> <p>〈改善策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○それぞれの委員会がボランティア活動の一つずつ担当し、自主的に社会貢献に参画しようとする気持ちを育成する。 <p>〈学校関係者評価委員の意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奉仕の心をもっての行動で80%以上の生徒が取り組んでいることに驚いた。奉仕の気持ちが育っていると感じた。 		A	A
<p>⑭生徒の80%以上が清掃活動に真面目に取り組んでいる。</p> <p>〈改善策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○引き続き方策の継続に努めるとともに、整美委員会が中心となり、清掃活動への積極的な取り組みを促していく。 <p>〈学校関係者評価委員の意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食着を新調した方が良いと思う。物を大切にすることは大事なことだとも思う。 		A	A
<p>⑮生徒の90%以上が朝食をとっている。</p> <p>〈改善策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○引き続き方策の継続に努め、基本的な生活習慣や食生活の大切さを理解し、生徒が進んで身に付けられるように支援していく。 <p>〈学校関係者評価委員の意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食に関する事項の評価が高く、指導が行き届いていると思った。 ・朝食をとる習慣をしっかり身に付け継続するように指導してほしい。 		A	A
<p>⑯生徒の85%以上が食後の歯磨きをしている。</p> <p>〈改善策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○歯みがきテストを保健委員が呼びかけ、ほとんどの生徒が実施することができた。引き続き方策の継続に努める。 		A	A
<p>⑰生徒の80%以上が進んで体力づくりに取り組んでいる。</p> <p>〈改善策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体育委員が集会で、ストレッチの方法を紹介した。引き続き、部活動の時間の確保や昼休みの運動の啓発を推進する。 		A	A
<p>⑱1日6～9時間の睡眠時間を生徒の80%以上がとっている。</p> <p>〈改善策〉【第1回自己評価A→第2回自己評価B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○睡眠時間については個人差が大きいため、家庭と連携した個別指導を継続して行っていく必要がある。引き続き方策の継続に努める。 <p>〈学校関係者評価委員の意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠時間の確保については、小学校でも大きな課題となっている。SNSの影響が大きいうである。 		B	A
<p>⑲学校は、施設・設備の安全や生徒の危機意識や自己防衛能力の育成に努めていると、保護者や生徒の80%以上が答えている。</p> <p>〈改善策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安全教育に関して実施した職員研修に基づいて、来年度の避難訓練の計画に活かしていく。 ○本年度実施した、移動及び職員対応を意識した避難訓練を今後も継続し、生徒の防災意識を高めていく。 ○水害時を想定した避難訓練を今後も継続し、地域の特色を考えた自己防衛能力の育成に努める。 <p>〈学校関係者評価委員の意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の工夫はとても参考になった。Home&Schoolの活用も検討していきたい。 		A	A
<p>⑳学校は、通学路の危険箇所の確認や生徒の交通事故防止、不審者への対策等に努めていると、保護者や生徒の80%以上が答えている。</p> <p>〈改善策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保護者と生徒との結果に差があるので、学校で計画・実施した避難訓練の情報を保護者に伝える機会を検討していく。 ・Home&Schoolを活用し、不審者情報などを提供していく。 ・生徒会の委員会活動と連携し、安全マップを更新することで、職員・生徒の共通理解を図るとともに、地域の安全への意識も高めていく。 <p>〈学校関係者評価委員の意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下町住民センター前の道路と歩道との境にポールを立ててもらった。 		A	A
<p>㉑学級活動における進路学習や総合的な学習の時間の体験活動等を通して、生徒の80%以上が自己の生き方について考えている。</p> <p>〈改善策〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○引き続き、学年でそれぞれの発達段階に応じた進路指導を組織的に行い、自分の希望する進路実現のために、高校卒業後の進路について積極的に考えられるように支援する。 		B	A
<p>㉒将来の進路などについて生徒の80%以上が親子で話し合う機会をもっていると答えている。</p> <p>〈改善策〉【第1回自己評価B→第2回自己評価A】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アンケートのポイントが上昇しているので、引き続き親子で話し合いをもてるワークシート等を検討する。 ○本年度の4月に記入してもらった生活調査を活用する方法を継続していくようにする。 <p>〈学校関係者評価委員の意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回のアンケートの評価が上がっている。 		A	A